

## 【件名】

中野駅新北口駅前地区における基盤整備の進捗状況について

## 【要旨】

中野駅新北口駅前地区で整備を計画しているペDESTリアンデッキ、駅前広場等の基盤施設については、現在、独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」という。）、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」という。）及び団町東地区市街地再開発組合への委託により、実施設計を進めており令和6年度の工事着工を目指している。

今回、これら整備に向けた進捗状況について以下のとおり報告する。

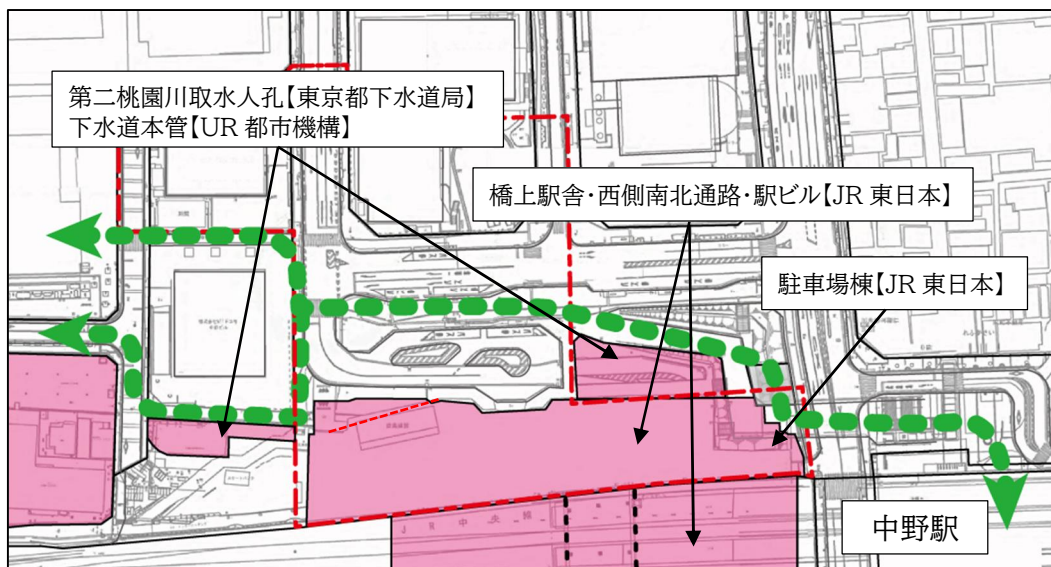
## 1. 工事展開等

## (1) 現在の工事展開

現在、新北口駅前地区ではJR東日本株式会社との協定事業である橋上駅舎及び西側南北通路の整備と同社の駅ビル、駐車場棟の整備が進められている。

加えて、東京都下水道局による第二桃園川幹線の取水人孔整備、UR都市機構の土地区画整理事業による下水道本管の切り回し工事が進められている。

現況工事展開（工事ヤード状況）図



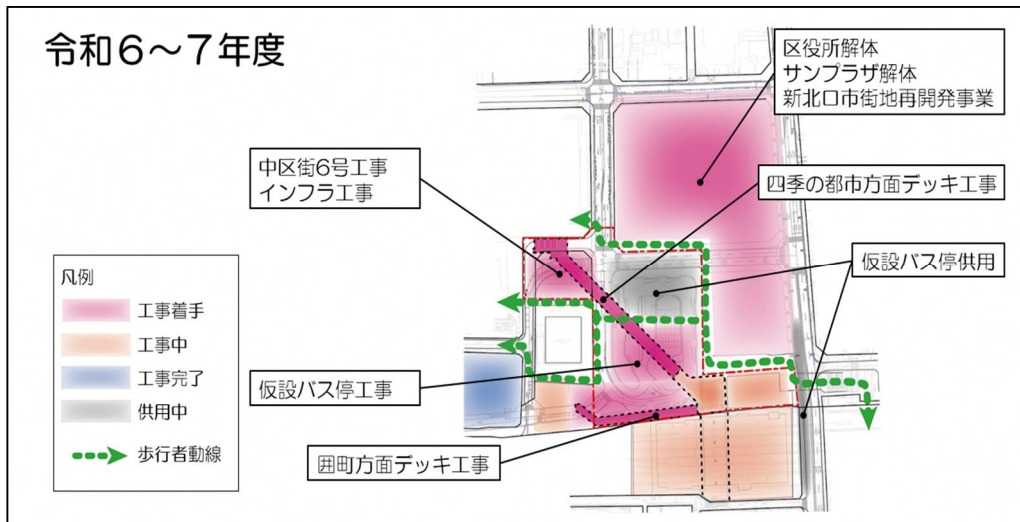
## (2) 今後の工事展開

今後、令和6年度から7年度にかけ、税務署、区役所及び中野サンプラザの解体工事が順次着手されるとともに、ペDESTリアンデッキや仮設バス停の整備など新北口駅前地区における工事が本格化することとなる。

今後とも効果的、効率的に工事ヤードが展開できるよう各事業者をはじめ関係

機関とも調整、連携を図りながら進めていく。

### 施工展開図



## 2. 施工調整状況

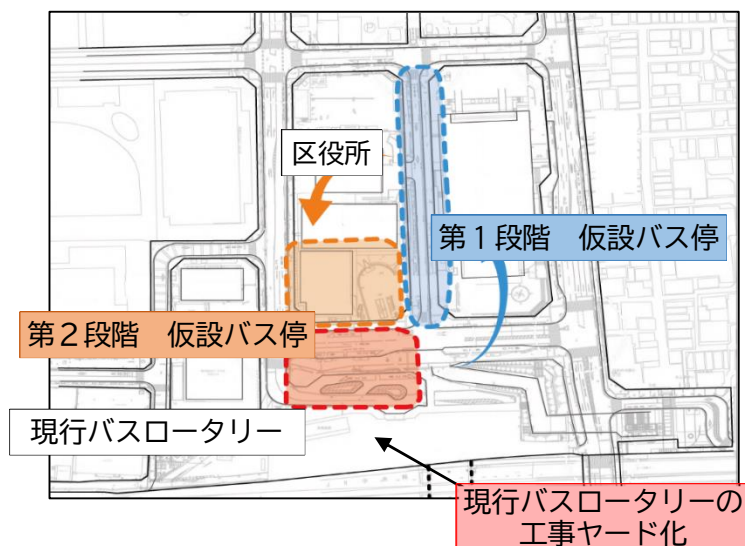
### (1) 仮設バス停の整備

新北口の施工展開において、区役所低層棟の跡地に仮設バス停の整備を計画しており、現在の北口バスロータリーの機能を移転し、工事ヤード化することによりペDESTリアンデッキや交通広場の整備を順次進めていく計画である。

この中で、新北口駅前地区の事業見直しに伴い、区とUR都市機構、中野四丁目新北口地区市街地再開発事業者と区役所の解体、仮設バス停整備や一部街路樹等の移植、新北口全体の緑化計画など役割分担を整理しながら、施工展開の一部見直しを行っている。

こうした見直しの中で、仮設バス停については下記のとおり段階的な整備を行うこととし、今後、UR都市機構をはじめ、バス事業者、交通管理者とも整備に向け調整、協議を進めていく予定である。

### 仮設バス停整備展開図



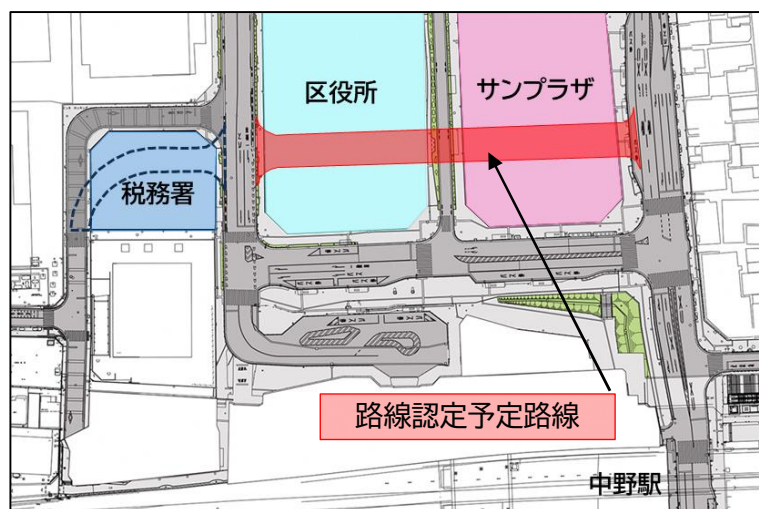
## (2) 路線の認定等

新北口駅前地区の土地区画整理事業による街区再編に伴い、各事業の進捗にあわせ必要となる道路法の手続きを進める予定である。

今後、中野四丁目新北口地区市街地再開発事業において立体道路制度を活用した建築物と一体として計画している新たな道路の路線認定について、区議会定例会への議案提出を予定している。

また、今後も事業進捗にあわせ適時適切に道路の法的な手続きを進めていく。

認定路線図



## 3. 今後の予定

- |       |   |
|-------|---|
| 令和6年  | 区役所解体、仮設バス停整備工事<br>中野税務署解体<br>ペDESTリアンデッキ工事着手 |
| 令和7年  | 中野税務署跡地インフラ移設工事                               |
| 令和8年  | 中野駅新北口改札開業                                    |
| 令和11年 | 中野駅新北口交通広場供用開始                                |